

平成22年度

尼崎の教職員を支援するために

— 平成22年度事業計画 —

— 平成21年度事業報告 —

尼崎市教育委員会事務局 学校教育室

教育総合センター

目 次

平成22年度 『尼崎の教職員を支援するために』

平成22年度事業計画

1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	3
3	尼崎の課題	4
4	研修をすすめるにあたって	7
5	具体的な取組	8
6	教育総合センター研修一覧表	10
7	教職員研修計画内容	12
8	視聴覚センターの研修・普及事業	19
9	研修・研修講座分担一覧	20
10	文科省・県教委等の実施する研修一覧	23

平成21年度事業報告

11	平成21年度研修報告	24
12	平成21年度教育相談担当の研修事業等報告	33
13	平成21年度教育研究部会の概要報告	36
14	平成21年度視聴覚センター事業報告	40
15	平成21年度教科書センター事業報告	41
16	平成21年度教育情報の収集・整理事業報告	41

資料

欠席届（様式3・4・5）	42
--------------	----

1 教育総合センターの事業について

平成22年度、教育委員会組織改編により、教育総合センターと、これまでの教育相談担当課の教育相談担当が同課になった。

教育総合センターの運営方針を次のように掲げるとともに、事業の概要を示す。

1 運営方針

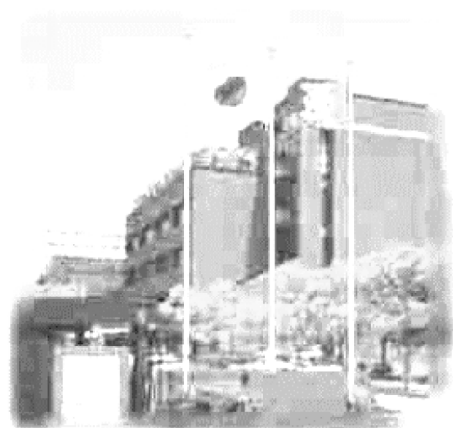
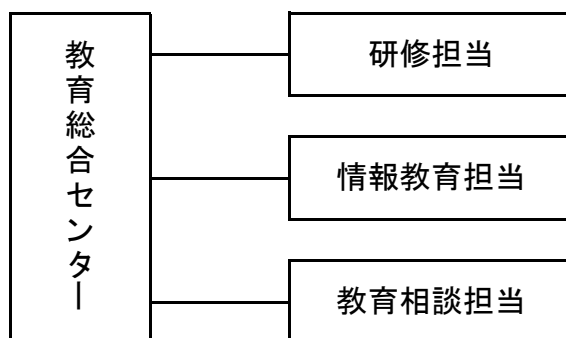
少子高齢化や環境問題の深刻化、高度情報化など、社会情勢のめまぐるしい変化のもと、兵庫県においては、今後の教育をさらに充実させるため、平成21年6月、「ひょうご教育創造プラン」を策定した。めざすべき方向として、知識基盤社会に対応する「確かな学力」の確立、いじめ・不登校対応など子どもたちの「心」を支えるシステムの充実、教職員の資質能力の向上などを示した。

また、本市においては、学力向上や幼稚園教育要領や新学習指導要領への対応、幼小中高のスムーズな接続といった課題のもと、平成22年度「学校教育に関する重点取組」により「わかる授業」の展開、「校内の教育相談体制」の充実、「教職に関する専門性」を高めることなどを示した。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性と市の課題に対応すべく研修体系や相談体制を構築し、教職員の不断の研究と修養を支援するとともに、いじめ・不登校・非行問題・しつけ・虐待などに対し、子どもや家庭、学校への支援の充実を図る。

2 主な事業の概要

教育総合センターでは、3つの担当（研修・情報・教育相談）があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。



<調査研究・教材開発事業>

学校教育に関する専門的・技術的事項について、所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し、センターの指導主事と協力して実践的な研究を進める。

成果は研究紀要（平成22年度末に第48号を発刊）にまとめるとともに、全国教育研究所連盟、近畿地区教育研究所連盟、兵庫県教育研究所連盟、教育総合センター研究発表会などで発表していく。

<教職員研修事業>

県・市の方針のもと、運営方針をたて、研修体系の策定を行った。大きな柱としては、

- 1 教員の資質向上を図る
- 2 課題に対応する

- 3 新学習指導要領に対応する
 - 4 中核市移行に対応する
 - 5 学校・園のニーズに応える
- の5つとし、研修事業を進めていく。

<児童生徒文化充実支援事業>

児童生徒の個性・能力の伸長と基礎学力の向上のため、児童生徒文化発表会等の文化的、体育的行事及び小・中学校の研究会の実践的な取組を支援していく。

<マイスター認定事業>

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰する。

<ぐんぐんのびる個別ドリルシステム活用事業>

児童一人一人の進度にあった計算や漢字の個別プリントを印刷するシステムを活用し、児童の学習意欲を促すとともに、繰り返し学習させながら、つまづきを発見し、次のステップへ進むための個別指導を支援する。

<学校情報通信ネットワークシステム関係事業>

高度情報通信社会に生きる児童生徒に対し情報活用能力の育成を図るとともに、教員の情報教育に係る指導力の向上、情報倫理の育成を図る。このネットワークシステムの活用により、学校間交流の活性化、学校と教育委員会との情報交換の円滑化を図り、学校からの情報の一部をホームページにより公開する。

<教育相談事業>

教育上の課題を持つ子ども、悩みを持つ保護者や学校・園からの相談に応じ、子どもの心身の望ましい発達を図るための指導助言を行う。

- 1 カウンセリングや心理テスト、各種の心理療法を取り入れ、的確な助言により問題解決を図る
- 2 教育相談の方法として、面接相談、電話相談、出張相談を行う
- 3 スーパーバイザーによる相談員への指導助言を行う
- 4 専門相談員（臨床心理士等）による個別相談を行う

<高等学校カウンセラー配置事業>

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員の研修や心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談を実施する。

<教育情報の収集と提供事業>

教育に関する図書、雑誌、全国教育センターの研究報告書、市内学校・園の研究誌等を収集し、利用しやすいように整備し、貸出を行う。広報活動として、「教育あまがさき」（年間2回）、「教育総合センターだより」（年間4回）を発行する。

また、教職員及び市民の教科書研究のため、教科書センターを常設する。

<視聴覚センター事業>

市民等を対象に、16ミリ映写機操作技術講習会を実施するほか、16ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、液晶プロジェクタ等を貸し出す。

2 研修体系策定の方針

以下の5点をもとに、研修体系の策定を行った。

1 教員の資質向上を図る

尼崎の課題を把握し、分析を行った。

それらの課題を解決するためには、

○あふれる情熱と責任感

○確かな授業力

○豊かな専門性

○柔軟な対応力

といった資質の向上が必要であるとする。

そこで、それらの資質を備えた教師像（あるべき教師像）を掲げ、その教師像に迫れる研修体系を策定する。

2 課題に対応する

学力向上、子ども理解、異校・園種の連携、教育技術の伝達と組織力の維持・向上などの課題がある。また、それらとも大きく関わって、学校・家庭・地域との連携などの課題もある。それらに対応できる研修体系を策定する。

3 新学習指導要領に対応する

小学校は平成23年度より、中学校は平成24年度より新学習指導要領が完全実施されることとなる。具体的な改善内容を踏まえ、言語活動の充実、道徳教育の充実、理数教育の充実、小学校外国語活動の充実等、新学習指導要領に対応できるような研修体系を策定する。

4 中核市移行に対応する

本市は、昨年度より中核市に移行したため、初任者研修や10年経験者研修などの法定研修、5年目および15年目研修など県から移譲された研修などにおいて、本市の独自性を織り込ませた研修体系を策定する。

5 学校・園のニーズに応える

教員の資質向上を図るためには、市の研修や学校で行う校内研修と自己研修が相互に関連することが大切である。そこで、校内研修の実態を把握するとともに、「センター研修事業連絡協議会」（平成21年度は2回実施）の意見を研修に反映していくなど、学校・園のニーズに的確に応えられるような研修体系を策定する。

3 尼崎の課題

1 学力向上 1

学力向上に関し、これまでの学力・生活実態調査から次の課題が浮き彫りになった。

① 教員の授業力向上

図1は、子どもたちが、「先生は教え方にいろいろ工夫している」という質問に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合である。

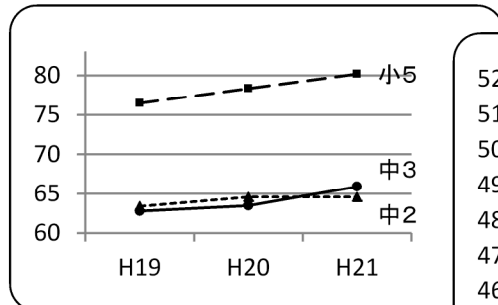


図1:「先生は教え方にいろいろ工夫している」の肯定的な回答（縦軸は百分率）

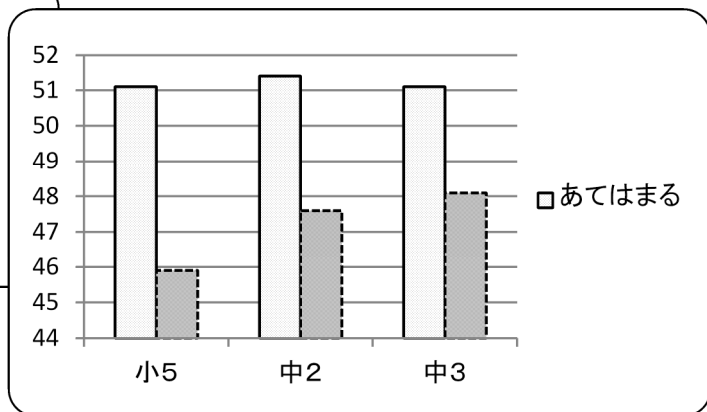


図2:「教え方に工夫」の回答と学力の関係（縦軸は偏差値）

図2は、図1で示した「教え方に工夫」の回答と学力（知識や技能等の能力の一部）との関係を示したものである。

図1及び図2から、教員の授業改善への取組は、年々改善傾向にあり、その授業改善は、子どもの学力に大きな影響を与えていることがわかる。今年度においてもさらなる取組をしていくことが必要である。

② 家庭学習の習慣化の定着

図3は、家庭学習において、「家の人に言われなくても自分から進んで勉強する」という質問に対し、「よくあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合である。

また、図4は、家庭学習の習慣と学力の関係を示したものである。

家庭学習の習慣の指標は、「出された宿題はきちんとやる」「嫌いな科目でもがんばってやる」「家の人に言われなくても自分から進んで勉強する」「授業で習ったことについて自分で詳しく調べる」という質問に対し、「よくあてはまる」を4点、「まああてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点とした合計である。「高」「中」「低」とは、その合計を3分割し、グループ化したものである。

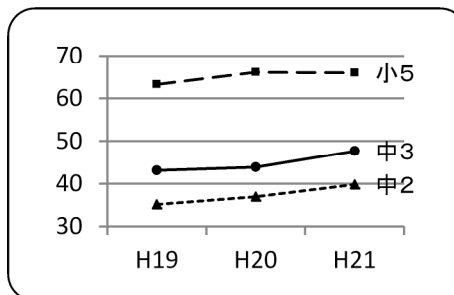


図3:「家の人に言われなくても自分から進んで勉強する」の肯定的な回答（縦軸は百分率）

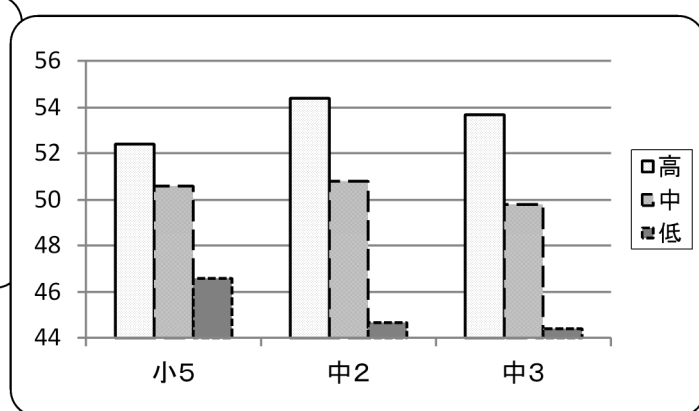


図4:家庭学習の習慣と学力の関係（縦軸は偏差値）

図3及び図4から、家庭学習の習慣は、年々改善傾向にあり、その習慣は、子どもたちの学力と大きく関わっていることがわかる。今後も家庭との連携を深め、習慣化を図る取組が必要がある。

2 子ども理解



① 子ども理解

子どもの内面を理解し、信頼関係を築き、成長の援助をしていくこと。教員の最も大切な仕事のひとつである。一人一人を多角的に捉え、適切な対応を行わなければならないが、子どもの心を掴むことが難しくなっている。ベテラン教員の「子どもが何を考えているのかわからない」というつぶやきを耳にする。今一度原点に戻って、すべての教員が、子どもとの関わり方を見直していく必要がある。

② 配慮を要する児童生徒への対応

図5及び図6は、本市における小・中学校の問題行動件数の推移を、市教委生徒指導担当の資料をもとに、平成19年度の全問題行動件数を1として表したものである。ただし、統計数は、各年度とも1月末までとしている。

小学校と中学校の件数はともにこの2年間で3割前後増加している。発生件数を項目別にみると、小学校では、窃盗・万引き、中学校では、対教師暴力、生徒間暴力、恐喝不純異性交遊の増加が目立つ。

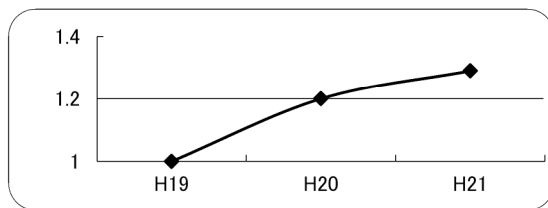
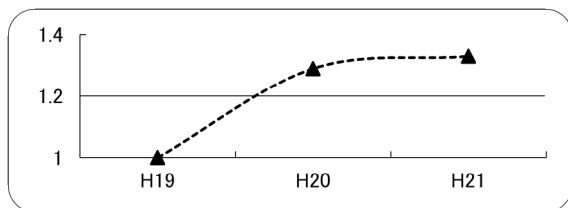


図5:問題行動における平成19年度比(小学校) 図6:問題行動における平成19年度比(中学校)

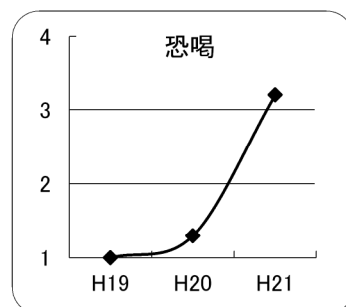
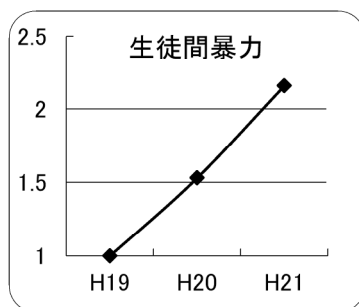
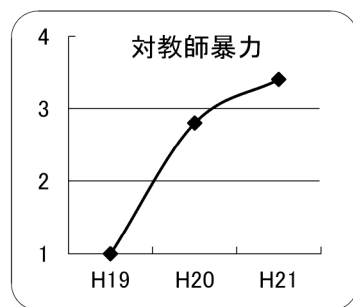


図7:項目別の平成19年度との比較(中学校)

図7は、中学校における対教師暴力、生徒間暴力、恐喝の件数の推移を示している。平成21年度を19年度と比較すると、それぞれ3.4倍、2.2倍、3.2倍と極端な伸びを示している。

今、教員には、子どもの心を理解し、柔軟な対応のできる力量が求められている。

③ 不登校児童生徒への対応

図8及び図9は、不登校児童生徒の出現率^{*1}を示したものである。

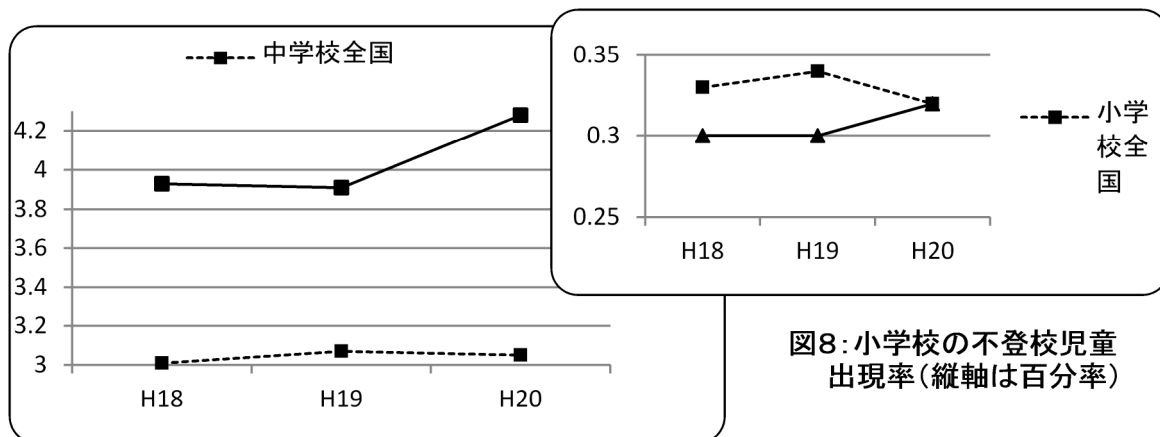


図8:小学校の不登校児童出現率(縦軸は百分率)

図9:中学校の不登校生徒出現率(縦軸は百分率)

本市における不登校児童生徒の出現率は、小学校では、全国との差はない。中学校になると、全国との差は広がる傾向にある。昨年度との比較では、小・中学校ともに、増加傾向にある。

保護者との連携を図り、信頼関係を築きながら、子ども一人一人に対応じた指導の充実が求められている。

※1 出現率(%)=[不登校児童(生徒)数 / 全児童(生徒)数]×100 市教委不登校担当の調査によるもの

3 異校・園種の連携

子どもは、幼稚園から中学校、高等学校まで一貫した流れの中で育っていく。区切りとしての校・園種の区別はあるものの教育の営みは連続していなければならない。

近年、小1プロブレムや中1ギャップ、また、高校進学後の退学等、さまざまな課題がある。それらの課題は、尼崎でも例外ではない。学習への意識の低下や不登校生徒の増加といった問題がある。

本市では、平成21年度から「中学校区学力向上推進モデル事業」において小・中学校の連携の方法を模索している。また、県では、平成24年度完全実施を目指し、「兵庫型教科担任制実践研究事業」を実施していくことで、学力向上や小学校から中学校への円滑な接続を図るなど、さまざまな取組を進めているところである。

学校・園が、子どもの成長を支援するため、それぞれの役割を認識し、一貫性のある教育を推進するため、異校・園種の連携を図っていくことが課題である。

4 教育技術の伝達と組織力の維持・向上

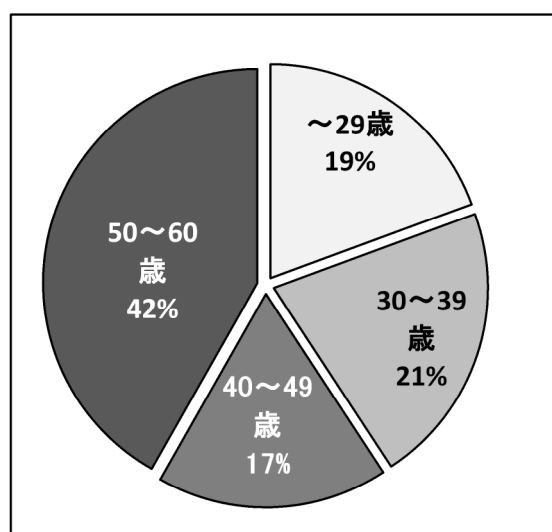


図10: 小・中学校を合わせた年齢別教諭の割合
(平成21年度 「尼崎の教育」より)

図10は、本市の小・中学校の教諭の年齢構成を表したものである。

小中学校の教諭数を合わせて、年齢別の割合を示しているが、50歳以上の教諭の割合が最も高いことがわかる。グラフからは読み取れないが、小学校では46%を占めていることもわかっている。約半数が50歳代ということになる。

また、ここ数年、毎年100人近くの新任教員が採用されており、この傾向は数年続くとみられる。

さらに、今後組織において中核となる35歳から44歳までの教諭の割合は、小学校では、全体の10%に満たない。

これらのことから、課題は2つある。

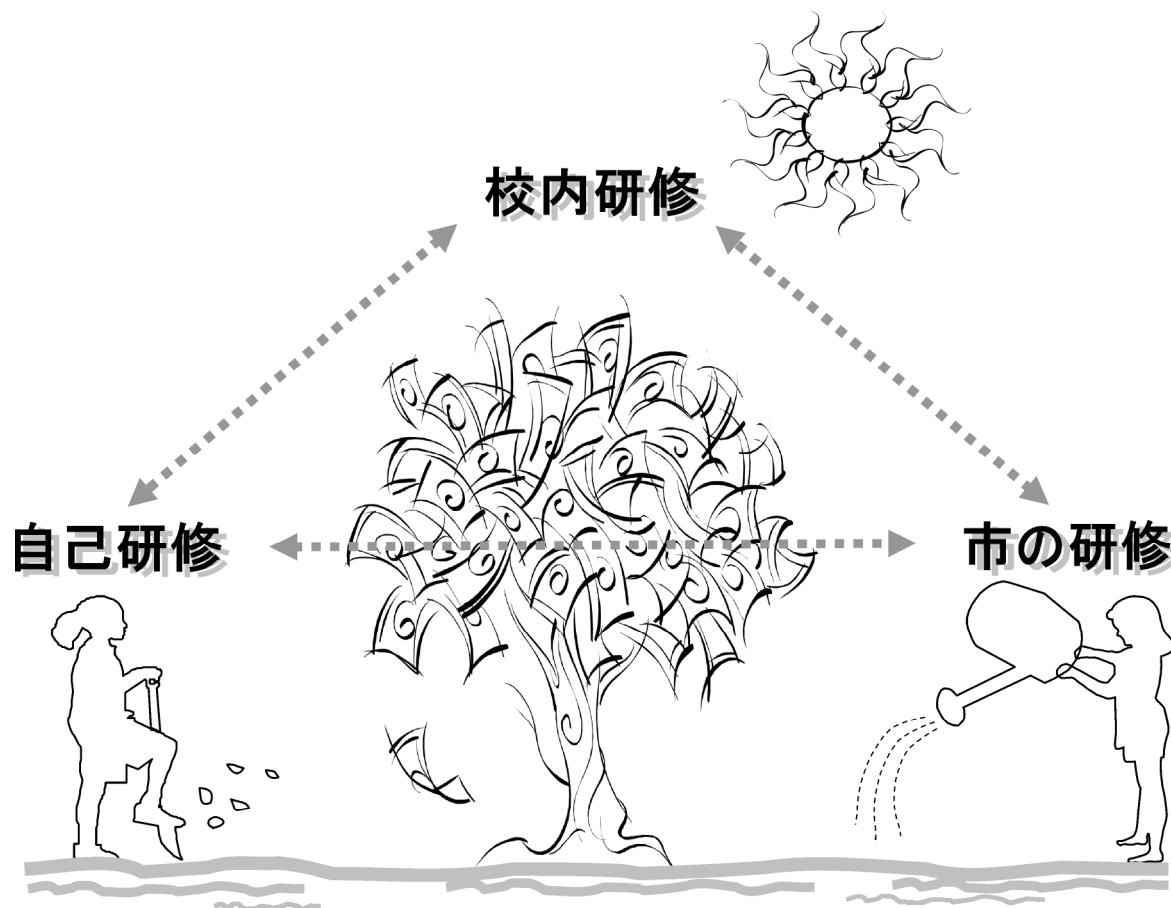
ひとつは、ベテラン教員の技術を若手の教員に伝えていくなど、教育技術の伝達・継承を図ること。

2つめは、中堅教員をミドルリーダーに養成し、組織力の維持・向上を図ること。

退職や特定の年齢層の教員不足による問題解決は、早急に取り組まなければならない課題である。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、各自の適性に応じて行う「自己研修」、教育総合センターの実施する「市の研修」等があるが、それらが補完し合って教員の成長を促していく。



1 教育総合センターの研修と校内研修の連携

- ① 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、連続した講座を開催していく。例えば、中学校の数学・理科・英語科教育では、同一講師に3回の講座を依頼し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- ② 熟練した授業を、できるだけ多くの教員に参観してもらうため、すべてのマイスター教員は、授業を年1回以上公開する。（マイスターによる公開授業研修講座）
また、指導主事や授業改善アドバイザーが授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- ③ 研究部会や研究会の成果を、発表会や紀要によって広く公開したり、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- ④ わかりやすい授業や校務の能率化を推進していくため、ICT活用などの研修を校内研修において実施していく。

2 教育総合センターの研修と自己研修の連携

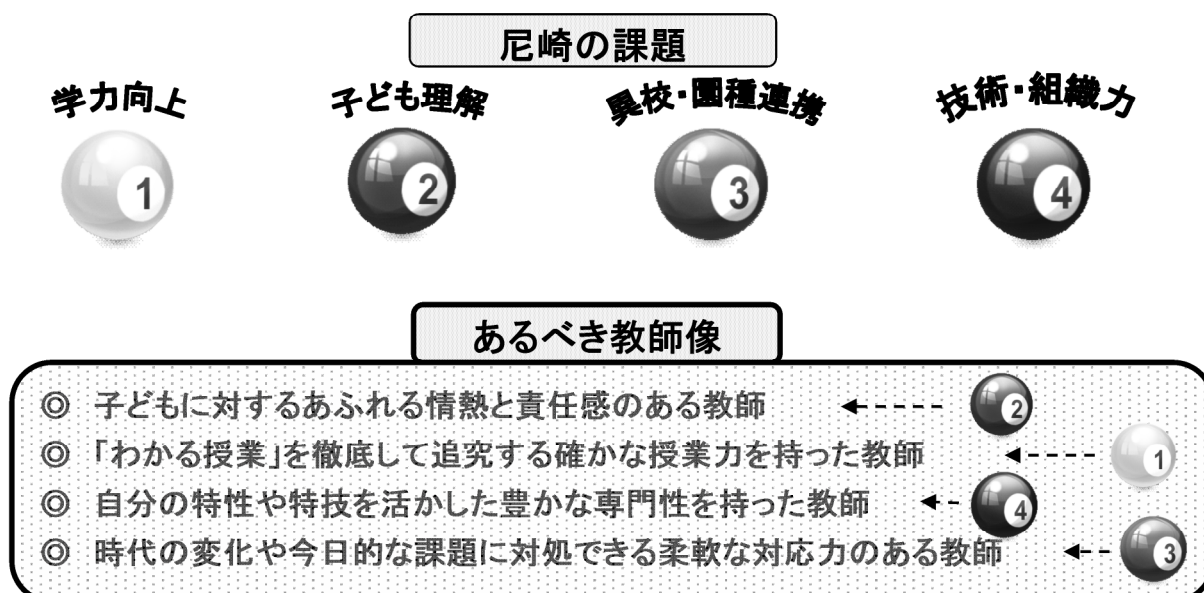
- ① 教員自ら行う自己研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。
活動グループ、個々のニーズにあった支援を充実する。
- ② 教育総合センターの情報コーナーにおいて、書籍等で最新の情報やこれまで公開された授業の学習指導案を提供する。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。

5 具体的な取組

「1 研修体系策定の方針」を受け、平成22年度教育総合センターにおける研修事業の具体的な取組を実施していく。

1 教員の資質向上を図る

尼崎の課題に迫るため、「あるべき教師像」を掲げ、教員の資質向上を図る。



2 課題に対応する

本市の課題に対応した研修をめざす。

- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・ カウンセリングの技法や子ども理解のための研修の充実
- ・ 幼・小・中・特別支援・高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実
- ・ 小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における連携を図る研修の充実
- ・ マイスター教員やベテラン教員の授業等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実
- ・ 中堅教員をミドルリーダーに養成するための研修の充実

3 新学習指導要領に対応する

小学校は平成23年、中学校は平成24年に完全実施される新教育課程に対応する研修をめざす。

- ・言語活動の充実（言語力向上や各教科の指導力をめざした研修など）
- ・理数教育の充実（数学科教育や理科教育において3回連続した研修など）
- ・伝統や文化に関する教育の充実（地域の文化や歴史など、郷土に関する研修など）
- ・道徳教育の充実（道徳教育や道徳の時間の授業研究など）
- ・小学校外国語活動の充実（外国語活動のカリキュラムや授業づくりに関する研修）

4 中核市移行に対応する

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

- ・初任者研修（法定研修）の充実

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営など、教員として必要な基礎を身に付けることをめざす。研修の形態は、グループ別討議や事例研究、ロールプレイングやブレインストーミングなど、講義だけでなく多様な技法を用いるなど、研修効果を高めることができるように配慮する。

研修場所は、教育総合センター以外に、学校や消防署、防災センターなど、尼崎の施設をできるだけ利用していく。

- ・10年経験者研修（法定研修）の充実

グループによる教科指導や生徒指導等の研修から、より実践力を高めるとともに、必修として地域の行事等の活動に参加する地域活動研修講座を受講し、尼崎の課題や展望を見つめ、今後の教育活動に活かしていく。

- ・5年目・15年目研修（平成20年度まで県教委が主催）の充実

5年目教員研修では、学級経営や教材開発を軸にした研修を実施していく。自分の教育活動を振り返り、若手教員のリーダーとしての自覚を促す。

15年目教員研修では、自己点検を行う時期と捉え、自己管理、自己開発を軸とした研修を実施していく。精神的なリフレッシュを行い、引き続きミドルリーダーとしての責任を担うことができるようにしていく。

5 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケート、校・園長に研修への意見や要望の聞きとり、研究会との連携、そして、校・園長の代表者と教育総合センターの研修のあり方を協議する「センター研修事業連絡協議会」（年2回実施）など、研修へのニーズを多方面から取り入れ、研修事業に生かしていく。

年間計画に当初より予定している研修講座はもとより、緊急性や必要性のあるときに対応する臨時特別研修など、学校・園のニーズにタイムリーに応えることのできる研修体系を整える。

6 教育総合センター研修一覧

種別	中分類	新再設編 ◎ ☆	平成22年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対象	今年度再編、 新設した研修
					情 熱 ・ 感	責 任 ・ 力	授 業 力	専 門 性			
受講しなければならない研修（基本研修）	職に 階に 応に 研修		校・園長研修		○				学校経営課題	校・園長	新任校・園長研修増設
		☆	新任校・園長研修	第1回	○				校・園長の職務	新任校・園長	
				第2回				○	学校経営課題		
			新任管理職コンピュータ研修					○	情報の基本管理等	新任校長・教頭	
	職務に 応じた 研修	◎	ミドルリーダー研修	第1回	○				ミドルリーダーとなる教員の役割 （組織マネジメント、組織の活性化等）	各校の主幹教諭、教務主任・研究主任及び学年主任の中から1名	ミドルリーダー研修 （主幹教諭研修、教務担当・教務主任研修、研究主任研修、学年主任研修を統合）
				第2回				○			
				第3回				○			
			外国語活動担当教員研修					○	外国語活動担当教員の職務	担当教員	
			拠点校指導教員研修		○				拠点校指導教員の職務		
			養護教諭研修					○	養護教諭の重要な役割	養護教諭	
			教育用コンピュータ管理担当研修					○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	
	教職年数に 応じた 研修		1年目教員必修研修	第1回	○		○	尼崎の教育、AMA-NETの活用、学級経営、グループ研修①	1年目教員必修研修対象者		
				第2回	○			○		尼崎養護学校体験	
				第3回				○		情報教育①、学習用コンピュータの活用	
				第4回				○		教科指導、安全教育	
				第5回	○		○	○		人権教育、接遇、グループ研修②	
				第6回				○		環境教育、児童理解（カウンセリング、教育相談）	
				第7回				○		保護者対応、グループ研修③	
				第8回		○				教科指導等、教材づくり	
				第9回				○		防災教育（施設見学、体験）	
				第10回				○		生徒指導、社会体験報告会（職場体験フォーラム）	
				第11回				○		情報教育②、ICTの活用	
				第12回	○					地域・保護者との連携、初任研のまとめ、グループ研修④	
			ステップ・アップ研修（選択）	(1)				○	学校実務等・理科実験安全研修講座	1年目教員必修研修対象者（選択）	
				(2)				○	実技指導、食育		
				(3)～(7)				○	授業設計1～5		
				(8)				○	指導実践発表と意見交換		
			2年目教員授業実践研修					○	公開授業の実施とマンツーマン指導	2年目教員	
			4年目教員交流研修					○	異なる校・園種へ行き、授業参観及び実践	4年目教員(高校も含む)	
			5年目教員研修	共通研修				○	授業力・指導力の向上	5年目教員	
				選択				○	マイスター教員の授業から1つ選択		
			10年経験者研修	共通研修				○	共通研修(尼崎の今日的課題に取り組む)	10年経験教員 (11年目教員)	
				選択				○	任意の11研修を選択(地域活動研修講座は必修)		
			15年目教員研修	共通研修				○	若手教員への実践的な指導	15年目教員	
				選択				○	任意の研修を1つ選択		
			20年目教員研修					○	任意の研修を2つ選択	20年目教員	
			常勤の臨時講師研修	(1)	○			○	教員として必要な知識や自覚	2年目までの常勤の臨時講師	
				(2)	○			○	(1)を受講できなかった場合に受講		
			管外転入教員研修						○ 本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	
	教科内容に 関する 改善 研修	◎	中学校理科教育研修	第1回				○	理科授業力の向上及び校内教員への伝達	中学校理科教員	理科教育研修、数学科教育研修、英語科教育研修を新設
				第2回				○			
				第3回				○			
		◎	数学科教育研修	第1回				○	数学科授業力の向上及び校内教員への伝達	中学校数学教員	
				第2回				○			
				第3回				○			
		◎	英語科教育研修	第1回				○	英語科授業力の向上及び校内教員への伝達	中学校英語教員	
				第2回				○			
				第3回				○			
希望による 研修（専門研修）	今日的課題に 対応した 研修		人権教育研修講座	(1)				○	学級指導とセルフコントロール	全教職員	
				(2)				○			
			一般教養研修講座						○		民間で活躍する人に学ぶ
			地域活動研修講座						○		地域活動への参加・体験・貢献
			学校飼育動物研修講座						○		小動物の取り扱いについての留意点
			校務の情報化研修講座						○		表計算ソフトの活用
			プレゼンテーション入門研修講座	第1回				○	説明力向上・プレゼンテーション演習 * 2回連続で受講すること		
				第2回				○			
			情報モラル・セキュリティ入門研修講座	第1回				○	モラル・セキュリティー入門 * 2回連続で受講すること		
				第2回				○			
			学校・園ホームページ作成研修講座	(1)				○	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム * 4回のうち、1つを受講すること		
				(2)				○			
				(3)				○			
				(4)				○			
			学校事務支援システム活用研修講座						○	学校事務支援システムの活用	事務職員
	子ども ための 理解の 研修		カウンセリング基礎講座	(1)				○	カウンセリング入門研修	全教職員	学級経営研修講座の廃止 （生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座へ統合）
				(2)				○	カウンセリングの基本的な演習		
生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座			(1)				○	事例研究を通した子ども理解			
			(2)				○	不登校児童生徒の理解及び対応			
特別支援教育研修講座			(1)				○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応			
			(2)				○	実践事例を通した子ども理解			

種別	中分類	新再設編 ◎ ☆	平成22年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対象	今年度再編、 新設した研修	
					情熱・感	授業力	専門性	対応力				
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修		言語力向上研修講座	(1)			○		(小学校教員向け)各教科における言語活動の充実	全教員	図書館教育研修講座の廃止 (言語力向上研修講座に統合)	
				(2)			○		(中学校教員向け)各教科における言語活動の充実			
			道徳教育研修講座	(1)	○			○	(小学校教員向け)魅力ある学級づくり			
				(2)		○	○		(中学校教員向け)道徳授業実践研究			
			国語科教育研修講座	(1)			○		(小学校教員向け)話すこと・聞くことの学力向上策			
				(2)			○		(中学校教員向け)伝統的な言語文化			
			社会科教育研修講座	(1)			○		(小学校教員向け)PISA型読解力と社会科			
				(2)		○			(中学校教員向け)PISA型読解力向上に向けた実践			
			算数科教育研修講座				○		活用する力を育む指導で気をつけたいこと			
			理科教育研修講座			○	○		(小学校教員向け)実験や観察で気をつけたいこと			
			生活科教育研修講座			○	○		(小学校教員向け)観察や活動で気をつけたいこと			
			幼児教育研修講座	(1)			○		発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育			
				(2)	○			○	魅力ある園をつくる			
				(3)		○			幼児期の楽しい運動遊び			
				(4)			○		知っておきたい子どものからだのこと			
			音楽科教育研修講座				○		表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと			
			図工・美術科教育研修講座				○		評価で気をつけておきたいこと			
			体育科教育研修講座	(1)			○		(小学校教員向け)動きを身につけさせる指導			
				(2)		○			(中学校教員向け)武道の指導			
			小学校外国語活動研修講座	(1)		○			授業で使えるネタあれこれ			
				(2)		○			効果的な活動事例			
			総合的学習研修講座				○		環境教育で参考になること			
			技術・家庭科教育研修講座				○		評価で気をつけておきたいこと			
			食育研修講座				○		食育推進で気をつけておきたいこと		全教職員	
			小学校情報教育研修講座	(1)			○		子どもたちの情報活用能力の育成 ＊ 2回連続で受講すること		小学校全教員	中・高情報活用推進研修講座の廃止 (自主研修講座支援で対応)
				(2)			○					
			公開授業研修講座	(小学校)	(1)		○		1年目教員による公開授業及び研究協議		・全教員	
					(2)		○					
					(3)		○					
				(中学校)	(4)		○				・1年目教員はステップ・アップ研修(3)～(7)と合わせて選択	
					(5)		○					
					(6)		○					
				(小学校)	(7)		○		2年目教員による公開授業及び研究協議		・全教員	
					(8)		○					
					(9)		○					
				(中学校)	(10)		○			・2年目教員は4つの授業から1つ選択すること		
					(11)		○					
					(12)		○					
				(小学校または中学校)	(13)		○		3年目教員による公開授業及び研究協議 (市内を6地区に分け、それぞれの地区で小学校または中学校の授業を公開する)	・全教員		
					(14)		○					
					(15)		○					
					(16)		○					
				(小学校)	(17)		○		4年目教員による公開授業及び研究協議	・全教員		
					(18)		○					
					(19)		○					
			(中学校)	(20)		○			・4年目教員は4つの授業から1つ選択すること			
			マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業8) (中学校教諭による授業6)	(1)		○	○	○	中田眞一氏による模範授業及び講話(小学校理科)	・全教員	マイスター教員による公開授業研修講座の拡充 (3講座から14講座に増設)	
				(2)		○	○	○	桑野光枝氏による模範授業及び講話(小学校国語)			
				(3)		○	○	○	中野穰氏による模範授業及び講話(小学校算数)			
		◎		(4)		○	○	○	藤原和恵氏による模範授業及び講話(小学校音楽)			
		◎		(5)		○	○	○	佐藤隆史氏による模範授業及び講話(小学校国語)			
		◎		(6)		○	○	○	金崎久子氏による模範授業及び講話(特別支援)			
		◎		(7)		○	○	○	大津雅子氏による模範授業及び講話(小学校図工)			
		◎		(8)		○	○	○	青木一朗氏による模範授業及び講話(小学校社会)			
		◎		(9)		○	○	○	井谷嘉彰氏による模範授業及び講話(中学校音楽)			
		◎		(10)		○	○	○	米田十四郎氏による模範授業及び講話(中学校保健)			
		◎		(11)		○	○	○	中岡禎雄氏による模範授業及び講話(中学校技家)			
		◎		(12)		○	○	○	中村恵利子氏による模範授業及び講話(中学校英語)			
		◎		(13)		○	○	○	松島修氏による模範授業及び講話(中学校理科)			
		◎		(14)		○	○	○	岡村美保子氏による模範授業及び講話(中学校英語)			
			視聴覚教材作成研修講座	(1)			○		小学校学習コンピュータを使ったビデオ編集	全教員		
				(2)			○		中学校学習コンピュータを使ったビデオ編集			
			教育研究発表会				○		教育総合センター研究発表会			
		特別に実施する研修	出講前座		小学校コンピュータ特別研修				○	情報の活用とモラル	全教員	中学校コンピュータ特別研修の新設
				◎	中学校コンピュータ特別研修				○	情報の活用とモラル		
					ホームページ作成研修				○	学校・園のホームページの作成		
	臨時特別研修		(1)					課題に対応した研修				
(2)												
(3)							ICT活用に対応した研修					

7 教職員研修計画内容

1 受講しなければならない研修(基本研修)

職階に応じた研修(職階別研修)

(実施時期で、夏季は夏季休業中)

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
校・園長研修	6 月	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って、今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題 (組織マネジメントについて)	校・園長	講話
新任校・園長研修	第1回 4 月	管理職としての職務(学校経営、管理運営、職員育成)について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校長の職務	新任校長 新任園長	講話
	第2回 7 月		職員育成		講話 及び 演習
新任管理職コンピュータ研修	4 月	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	情報管理とネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

職務に応じた研修(職務別研修)

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
ミドルリーダー研修	第1回	管理職と教職員とをつなぐ役割についての理解を深め、効果的な進め方について学ぶ。	学校運営上の役割について	各校の主幹教諭、 教務担当・教務主任、 研究主任、 学年主任、 から1名	講話 及び 演習
	第2回		若手教員への助言・援助		
	第3回		学校運営に関する企画立案、事務処理		
外国語活動担当教員研修	5 月	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	外国語活動担当教員の職務	外国語活動担当教員	演習
拠点校指導教員研修	6 月	初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける。	拠点校指導教員の職務(初任者指導に向けた資質の向上)	拠点校指導教員	
養護教諭研修	11月	保健指導のあり方についての理解を深め、保健指導の指導力の充実を図る。	健康管理	養護教諭	講話
教育用コンピュータ管理担当研修	4 月	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	教育用コンピュータ管理担当教員	演習

経験年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
1年目教員必修研修	第1回	5/18	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、AMA-NETの活用、学級経営、グループ別①	幼・小・中・特別支援・高校の初任者研修対象者	演習
	第2回	6/1 6/8		尼崎養護学校体験	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	実習
	第3回	6/15 6/22		情報教育①、学習用コンピュータの活用		演習
	第4回	7/6		安全教育、教科指導（指導案作成）		実習 演習
	第5回	8/3		人権教育、学級経営、グループ別②		演習
	第6回	8/24		環境教育、児童理解（カウンセリング、教育相談）		
	第7回	10/5		保護者対応、グループ別③		実習
	第8回	10/19		教科指導等、教材づくり		
	第9回	11/9		防災教育（施設見学、体験）	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	演習
	第10回	11/30		生徒指導、社会体験報告会（職場体験フォーラム）		実習
	第11回	12/7 1/25		情報教育②、ICTの活用		
	第12回	2/1		地域・保護者との連携、初任研のまとめ、グループ別④		
ステップ・アップ研修	(1)	5/25	教育課題を実践的に学び、実験の指導力やスキルアップを図る。	学校実務等・理科実験安全研修講座	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者（選択）	
	(2)	8月	今日的教育課題について、実践的に学びスキルアップを図る。	実技指導、食育		

研修・講座名	実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
ステップ・アップ 研修	(3) ～ (7)	10月 ～ 11月	教育課題を実践的に学び、指導案の 作成を中心にスキルアップを図る。	小・中・特別 支援学校の初 任者研修対象 者(選択)	演習
	(8)	2/15	ポートフォリオ評価により、自己の 実践をふり返り、次年度に生かす。		
2年目教員授業実践 研修	6月 ～ 2月	個別の指導により、個人の課題に応 じて確かな指導力を身につける。	教育実践力向上をめざ し、授業公開の実施と マンツーマンの指導を 伴う研修	小・中・特別 支援学校の2 年目教員	授業
4年目教員交流研修	6月 ～ 2月	異なる校・園種の子どもや教職員と関わ ることにより、他校・園種の教育活動を 学ぶ。	異なる校・園種に行 き、授業の参観及び実 践	小・中・特別 支援学校・高 校の4年目教 員	
5年目教員研修	夏季	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向 上を図るとともに各自の課題を把握し今 後の教員生活の充実に資する。	授業力・指導力を図る 共通研修及び選択研修 1日	小・中・特別 支援学校の5 年目教員	講話
10年経験者研修	5月 及び 通年	個々の能力や適性、ニーズに応じて 研修を実施し、指導力向上など教員 としての資質の向上を図る。	「尼崎の今日的課題」を テーマにした共通研修及 び選択研修11日(幼稚園 は4日)	幼・小・中・ 特別支援学校 の10年経験者 (11年目)	演習
15年目教員研修	夏季	中堅教員として多様化する教育課題 に適切に対応できる広い視野と実践 的指導力を身につける。	視野を広め、意識改革を 図り、若い教員への指導 をテーマにした共通研修 及び選択研修1日	小・中・特別 支援学校の15 年目教員	
20年目教員研修	通年	これからの教育課題を理解し、中堅 教員として教育の理論と広い視野を 身につける。	個人の自覚をもとに、 専門研修から2講座を 選択し、視野を広げる	小・中・特別 支援学校の20 年目教員	講話
常勤の臨時講 師研修	(1)	6月	教員としての必要な知識 を身につけ、教員として の自覚を高める	小・中・特別 支援学校の2 年未満の常勤 の臨時講師	演習
	(2)	10月			
管外転入教員研修	4月	本市の教育の現状と課題について理 解し、実践への意欲と教員としての 自覚を高める。	本市の教育課題とこれ までの取組	管外転入教員	講話

教科内容に関する改善事項に応じた研修(教科指導力向上研修)

研修・講座名		実施 時期	目　　的	内　　容	対　象	備考
中学校理科教育研修講座	第 1 回	夏季	科学的な認識の定着を図り、科学的な見方や考え方を養うための指導について研修を行い、授業力の向上を図る。また、研修内容を所属校で広め、校内の授業力向上及び活性化を図る。	3回の継続した研修において、実験等についての演習を行う	各校の中学校理科担当教員1名（同一教員が3回受講する）	演習
	第 2 回					
	第 3 回					

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
数学科教育研 修講座	第 1 回	夏季	知識・技能を定着させ、学力向上につなげる数学的な思考力・表現力を育むための指導について研修し、授業力の向上を図る。また、研修内容を所属校で広め、校内の授業力向上及び活性化を図る。	3回の継続した研修において、教科指導法等についての演習を行う	各校の中学校数学科担当教員1名（同一教員が3回受講する）	演習
	第 2 回					
	第 3 回					
英語科教育研 修講座	第 1 回	夏季	言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むための指導について研修し、授業力の向上を図る。また、研修内容を所属校で広め、校内の授業力向上及び活性化を図る。	3回の継続した研修において、教科指導法等についての演習を行う	各校の中学校英語科担当教員1名（同一教員が3回受講する）	
	第 2 回					
	第 3 回					

2 希望による研修(専門研修)

今日的課題に対応した研修（教職課題研修講座）

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考	
人権教育研修 講座	(1)	夏季	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	学級指導とセルフコントロール	全教職員	講話	
	(2)						
一般教養研修講座			社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間企業で活躍する人に学ぶ			
地域活動研修講座		通年	地域に積極的に貢献し、地域の課題を知ることにより教育活動に活かす。	地域における活動に参加・体験・貢献	全教員	体験	
学校飼育動物研修講座		5月	学校内での飼育動物について管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	小動物の扱い等のについての留意点		講話	
校務の情報化研修講座		夏季	教育事務能力を養うための知識と技術を習得し、教育活動の充実を図る。	表計算ソフトの活用	全教職員	演習	
プレゼンテーション入門研修講座	第1回		教育活動に活かすための基本的なプレゼンテーション技能を習得する。	説明力向上、プレゼンテーション演習 2回連続で受講すること			
	第2回						

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
情報モラル・セキュリティ入門研修講座	第1回	夏季	情報モラル指導及び情報漏洩対策のための基本的な知識技能を修得する。	情報モラル・セキュリティ入門 2回連続で受講すること	全教職員	演習
	第2回					
学校・園ホームページ作成研修講座	(1)		学校園のホームページに特化して、適切な情報発信を考える。	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネージメントシステム（CMS） 4回実施のうち、1回を受講する		
	(2)					
	(3)					
	(4)					
学校事務支援システム活用研修講座		1月	学校事務処理支援システムの活用方法を習得し、効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	学校事務支援システムの活用	事務職員	

子ども理解のための研修（教育相談研修講座）

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
カウンセリング基礎講座	(1)	夏季	児童生徒への理解を深め、教職員のカウンセリングマインドの向上を図る。	カウンセリング入門	全教職員	講話
	(2)			カウンセリングの基本的な演習		演習
生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)		児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について、理解を深める。	事例研究を通した子ども理解		
	(2)			不登校児童生徒の理解及び対応		講話
特別支援教育研修講座	(1)		教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応		
	(2)			実践的事例を通した子ども理解		

教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
言語力向上研修講座	(1)	各教科における言語活動の充実を図るための授業のあり方を学び、指導力の向上を図る。	(小学校向け)		講話
	(2)		(中学校向け)		
道徳教育研修講座(1)(2)	(1)	児童生徒の心情を大切にする授業の在り方について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 魅力ある学級づくり		授業
	(2)		(中学校向け) 道徳授業実践研究		
国語科教育研修講座(1)(2)	(1)	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 話すこと、聞くことの 学力向上策		講話
	(2)		(中学校向け) 伝統的な言語文化		
社会科教育研修講座(1)(2)	(1)	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) P I S A型読解力と社会科		講話
	(2)		(中学校向け) P I S A型読解力向上に向けた実践		
算数科教育研修講座	夏季	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 活用力を育む指導法	全教員	
理科教育研修講座		理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 実験や観察で気をつけたいこと		演習
生活科教育研修講座		実践例を通して学習活動の場づくりについて理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校向け) 観察や活動で気をつけたいこと		
幼児教育研修講座	(1)	幼児教育についての理解を深め、保育実践における指導の充実を図る。	発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育		講話
	(2)		魅力ある園を作る		
	(3)		幼児期の楽しい運動遊び		
	(4)		知っておきたい子どものからだのこと		
音楽科教育研修講座		表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと		

研修・講座名	実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考	
図工・美術科教育研修 講座	夏季	図工・美術科に関する専門性を深めると ともに、造形的な創作活動について研修 し、指導力の向上を図る。	評価で気をつけておき たいこと	全教員	講話	
体育科教育研 修講座		(1)	体育科に関する専門性を深めるとと もに、児童生徒の主体的な学習を促 す実技指導の技術を身につけ、指導 力の向上を図る。			(小学校向け) 動きを身につけさせる 指導で気をつけておき たいこと
		(2)			(中学校向け) 武道の指導で気をつけ ておきたいこと	
技術・家庭科教育研修 講座		技術・家庭科の授業実践を図る技術 を取得する。	評価で気をつけておき たいこと		講話	
小学校外国語 活動研修講座		(1)	授業で使えるネタあれ これ			演習
		(2)	効果的な活動事例			
総合的学習研修講座		「総合的な学習の時間」のねらいを踏ま え、学校の実態に応じた学習活動につい て理解を深め、指導力の向上を図る。	福祉教育をテーマにし た授業づくり	講話		
食育研修講座		子ども達の生きる力の基礎となる 「食育」の積極的な推進を図る。	食育推進で気をつけて おきたいこと		全教職員	
小学校情報教 育研修講座		(1)	情報教育についての理解を深め、教 科等における情報活用能力育成をめ ざした実践的な指導力の向上を図 る。	子どもたちの情報活用 能力の育成 2回連続で受講するこ と	小学校教員	演習
		(2)				
公開授業研修 講座	(1) ～ (20)	9月 ～ 2月	各教科の教育理論と実践の統合を図 り、創造的な教育活動の指導力を高 める。	研究授業及び研究協議	授業	
マイスターによ る公開授業研修 講座	(21) ～ (34)		見本となる授業とその研究協議を通 して、個々の授業力や指導力を高め る。			模範授業及び研究協議
視聴覚教材作 成研修講座	(1)	夏季	視聴覚教材制作のための制作技法を 習得し、教材作成に役立てる。	小学校学習用コン ピュータを使ったビデ オ編集	全教員	演習
	(2)		中学校学習用コン ピュータを使ったビデ オ編集			
教育研究発表会	2/15	研究成果を発表し、学校・園及び関 係機関での研究推進と教育実践の参 考に資する。	教育総合センター研究 発表会		発表	

8 視聴覚センターの研修・普及事業

研修事業

◇16ミリ映写機操作技術講習会

目 的	16ミリ映写機の基礎知識及び操作技術の習得を図る。
対 象	18歳以上の市内在住・在学及び在勤者
回 数	3回 平成22年7月14日（水）・8月18日（水）・11月17日（水）
内 容	講話「16ミリフィルムと映写機」 映画「16ミリ映写機の原理と構造」 実技「16ミリ映写機の操作」

◇視聴覚室機器操作講習会

目 的	視聴覚機器（教育総合センター視聴覚室）の操作技術の習得を図る。
対 象	視聴覚センター利用希望者
回 数	随 時
内 容	講話と演習「視聴覚機器の操作法」 音声－マイク、カセットレコーダー 映像－ビデオカメラ、データビューア、ビデオプロジェクター等

◇ビデオ編集機操作講習会

目 的	ビデオ編集の基礎知識及びビデオ編集機の操作技術の習得を図る。
対 象	学校・社会教育関係者
回 数	随 時
内 容	講話「ビデオのダビングとビデオ編集の概要」 演習「ビデオ編集－アッセンブル編集－」

9 研修・研修講座分担一覧

種別	中分類	平成22年度 研修・研修講座名		内容・領域	総括係長	研修係長	研修担当	研修担当	研修担当	研修担当	情報担当	情報担当	情報担当
					松田	大平	樋口	寺田	魚住	兼田	藤井	大濱	田中
職に 階に 応 修		校・園長研修		学校経営課題		○							
		新任校・園長研修	第1回	校・園長の職務						○			
			第2回	学校経営課題						○			
職務に 応じた 研修		新任管理職コンピュータ研修		情報の管理とネットワークを利用した校務処理								○	
		ミドルリーダー研修	第1回	ミドルリーダーとなる教員の役割 (組織マネジメント、組織の活性化等)						○			
			第2回										
			第3回										
		外国語活動担当教員研修		外国語活動担当教員の職務				○					
		拠点校指導教員研修		拠点校指導教員の職務				○					
		養護教諭研修		養護教諭の重要な役割			○						
		教育用コンピュータ管理研修		教育用コンピュータシステムの管理と運用								○	
		1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、AMA-NETの活用、地域課題、グループ研修①				○					
			第2回	尼崎養護学校体験				○					
			第3回	情報教育①、学習用コンピュータの活用								○	
			第4回	安全教育、接遇						○			
			第5回	人権教育、学級経営、グループ研修②				○					
			第6回	環境教育、児童理解(カウンセリング、教育相談)		○							
			第7回	保護者対応、グループ研修③					○				
			第8回	教科指導等、教材づくり			○						
			第9回	防災教育(施設見学、体験)				○					
			第10回	生徒指導、社会体験報告会(職場体験フォーラム)					○				
			第11回	情報教育②、ICTの活用							○		
			第12回	初任研のまとめ、グループ研修④	○								
教職年 数に 応じた 研修 (基本 研修)		ステップ・アップ 研修(選択)	(1)	学校実務等						○			
			(2)	実技指導、食育				○					
			(3)~(7)	授業設計1~5			○						
			(8)	指導実践発表と意見交換					○				
		2年目教員授業実践研修		公開授業の実施とマンツーマン指導				○					
		4年目教員交流研修		異なる校・園種へ行き、授業参観及び実践				○					
		5年目教員研修	共通	授業力・指導力の向上						○			
			選択	マイスター教員の授業から1つ選択									
		10年経験者研修	共通	共通研修(尼崎の今日的課題に取り組む)			○						
			選択	任意の11研修を選択(地域活動研修講座は必修)									
		15年目教員研修	共通	若手教員への実践的な指導				○					
			選択	任意の研修を1つ選択									
		20年目教員研修	選択	任意の研修を2つ選択						○			
		常勤の臨時講師研修	(1)	教員として必要な知識や自覚					○				
			(2)	(1)を受講できなかった場合に受講									
		管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み				○					
教科 内容 事項 に 応 じ た 研 修		中学校理科教育研修	第1回	理科授業力の向上及び校内教員への伝達					○				
			第2回										
			第3回										
		数学科教育研修	第1回	数学科授業力の向上及び校内教員への伝達					○				
			第2回										
			第3回										
		英語科教育研修	第1回	英語科授業力の向上及び校内教員への伝達						○			
			第2回										
			第3回										

種別	中分類	平成22年度 研修・研修講座名		内容・領域	総括係長	研修係長	研修担当	研修担当	研修担当	研修担当	情報担当	情報担当	情報担当
					松田	大平	樋口	寺田	魚住	兼田	藤井	大濱	田中
希望による研修（専門研修）	今日的課題に対応した研修	人権教育研修講座	(1)	学級指導とセルフコントロール			○						
			(2)										
		一般教養研修講座		民間で活躍する人に学ぶ				○					
		地域活動研修講座		地域活動への参加・体験・貢献				○					
		学校飼育動物研修講座		小動物の取り扱いについての留意点				○					
		校務の情報化研修講座		表計算ソフトの活用									○
		プレゼンテーション入門研修講座	第1回	説明力向上・プレゼンテーション演習 * 2回連続で受講すること									○
			第2回										
		情報モラル・セキュリティ入門研修講座	第1回	モラル・セキュリティー入門 * 2回連続で受講すること									○
			第2回										
		学校・園ホームページ作成研修講座	(1)	学校・園ホームページ作成、コンテンツマネジメントシステム * 4回のうち、1つを受講すること							○		
			(2)										
			(3)										
			(4)										
		学校事務支援システム活用研修講座		学校事務支援システムの活用							○		
	子どもための理解の研修	カウンセリング基礎講座	(1)	カウンセリング入門研修			○						
			(2)	カウンセリングの基本的な演習									
		生徒指導・不登校児童生徒支援研修講座	(1)	事例研究を通した子ども理解				○					
			(2)	不登校児童生徒の理解及び対応						○			
		特別支援教育研修講座	(1)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応						○			
			(2)	実践事例を通した子ども理解									
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修	言語力向上研修講座	(1)	(小学校教員向け)各教科における言語活動の充実			○						
			(2)	(中学校教員向け)各教科における言語活動の充実						○			
		道徳教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)魅力ある学級づくり				○					
			(2)	(中学校教員向け)道徳授業実践研究					○				
		国語科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)話すこと・聞くことの学力向上策			○				○		
			(2)	(中学校教員向け)伝統的な言語文化									
		社会科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)PISA型読解力と社会科			○				○		
			(2)	(中学校教員向け)PISA型読解力向上に向けた実践									
		算数科教育研修講座		活用する力を育む指導で気をつけたいこと				○					
		理科教育研修講座		(小学校教員向け)実験や観察で気をつけたいこと						○			
		生活科教育研修講座		(小学校教員向け)観察や活動で気をつけたいこと			○						
		幼児教育研修講座	(1)	発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育			○						
			(2)	魅力ある園をつくる									
			(3)	幼児期の楽しい運動遊び									
			(4)	知っておきたい子どものからだのこと									
		音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導で気をつけておきたいこと						○			
		図工・美術科教育研修講座		評価で気をつけておきたいこと					○				
		体育科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)動きを身につけさせる指導				○					
			(2)	(中学校教員向け)武道の指導					○				
		小学校外国語活動研修講座	(1)	授業で使えるネタあれこれ				○					
			(2)	効果的な活動事例									
		総合的学習研修講座		環境教育で参考になること				○					
		技術・家庭科教育研修講座		評価で気をつけておきたいこと						○			

種別	中分類	平成22年度 研修・研修講座名		内容・領域	総括係長	研修係長	研修担当	研修担当	研修担当	研修担当	情報担当	情報担当	情報担当
					松田	大平	樋口	寺田	魚住	兼田	藤井	大濱	田中
希望による研修（専門研修）	教科の指導力向上を目指した研修	食育研修講座		食育推進で気をつけておきたいこと					○				
		小学校情報教育研修講座	(1)	子どもの実践的情報活用能力の育成 ＊ 2回連続で受講すること								○	
			(2)										○
		(小学校3)	(1)	1年目教員による公開授業及び研究協議									
			(2)										
			(3)				○						
		(中学校2)	(4)										
			(5)										
			(6)										
		(小学校3)	(7)	2年目教員による公開授業及び研究協議									
			(8)							○			
			(9)										
		(中学校2)	(10)										
			(11)	3年目教員による公開授業及び研究協議 (地区ごとに1名代表授業)									
			(12)										
			(13)					○					
		(園田)	(14)										
		(立花)	(15)										
		(武庫)	(16)										
		(小学校2)	(17)	4年目教員による公開授業及び研究協議									
			(18)										
			(19)						○				
		(中学校2)	(20)										
		マイスター教員による公開授業 研修講座 (小学校教諭による授業 8) (中学校教諭による授業 6)	(1)	中田眞一氏による模範授業及び講話(小学校理科)									
			(2)	桑野光枝氏による模範授業及び講話(小学校国語)									
			(3)	中野穰氏による模範授業及び講話(小学校算数)			○						
			(4)	藤原和恵氏による模範授業及び講話(小学校音楽)									
			(5)	佐藤隆史氏による模範授業及び講話(小学校国語)									
			(6)	金崎久子氏による模範授業及び講話(特別支援)									
			(7)	大津雅子氏による模範授業及び講話(小学校図工)				○					
			(8)	青木一朗氏による模範授業及び講話(小学校社会)									
			(9)	井谷嘉彰氏による模範授業及び講話(中学校音楽)									
			(10)	米田十四郎氏による模範授業及び講話(中学校保体)					○				
			(11)	中岡禎雄氏による模範授業及び講話(中学校技家)									
			(12)	中村恵利子氏による模範授業及び講話(中学校英語)									
			(13)	松島修氏による模範授業及び講話(中学校理科)						○			
			(14)	岡村美保子氏による模範授業及び講話(中学校英語)									
		視聴覚教材作成研修講座	(1)	小学校学習コンピュータを使ったビデオ編集							○		
			(2)	中学校学習コンピュータを使ったビデオ編集									
		教育研究発表会		教育総合センター研究発表会	○								
特別に実施する研修	出講前座	小学校コンピュータ特別研修		情報の活用とモラル									○
		中学校コンピュータ特別研修		情報の活用とモラル							○		
		ホームページ作成研修		学校・園のホームページの作成							○		
	臨時研修	臨時特別研修	(1)	課題に対応した研修		○							
			(2)	ICT活用に対応した研修	○								

10 文科省・県教委等の実施する研修一覧

	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教員研修 センター	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支 援教育セン ター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員 及び新任通級指導担当教員
	基礎研修	特別支援学校及び幼・小・中・高等学校 教員
	実技研修	小・中学校の特別支援教育担当教員
	課題別研修	特別支援学校及び小・中学校の特別支援 教育担当教員
	学校訪問研修	小・中・特別支援学校教員
県立教育研 修所	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	
	自由研修	
県教委(阪神 教育事務所) 等主催	学校経営研修講座	平成22(2010)年度採用小・中・特別支援 学校校長
	学校管理職・教育行政職特別研修	平成22(2010)年度採用小・中・特別支援 学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会(校長)	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会(教頭)	小・中・特別支援学校教頭
	県立学校管理職(校長)研究協議会	高等学校校長
	県立学校管理職(教頭)研究協議会	高等学校教頭
	県立学校新任校長学校経営研修講座	平成22(2010)年度採用高等学校校長
	初任者研修(一部の講座に参加)	幼・小・中・特別支援・高等学校初任者 教員
	10年経験者研修(一部の講座に参加)	平成12(2000)年度採用小・中・特別支 援・高等学校教員
	教職経験者研修(5年目)	平成18(2006)年度採用小・中・特別支援 学校教員
	教職経験者(中堅教員)研修(15年目)	平成8(1996)年度採用小・中・特別支援学 校教員
	5年・15年次高校教員研修講座	平成18(2006)・8(1996)年度採用高等学 校教員
	小学校外国語活動教員研修	小学校教員
	公立学校臨時的任用教員及び任用候補者講習会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	長期研修休業制度	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	教職員研究活性化支援事業	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	体験型理数系教員指導力向上研修	小・中学校教員(理科及び数学科教員)

11 平成21年度 研修報告

1 受講しなければならない研修

職階に応じた研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
校・園長研修		6	24	講話	逆境を勝ち抜くための組織づくり	ヴィッセル神戸社長	安達 貞至	68
新任校・園長研修		4	24		新任校・園長に望むこと	教育長	村山 保夫	18
教頭研修		8	20		尼崎で活躍されている企業経営者から学ぶ	ゼロ精工株式会社社長	岡本 仁	65
新任教頭研修	21		28		新任教頭に望むこと	教育長	村山 保夫	23
新任管理職コンピュータ研修	(1)	4	13	演習	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養う	指導主事		24
	(2)		14					
	(3)		15					
主幹教諭研修		8	21	講話及び演習	主幹教諭に求められるコミュニケーション能力	国立教育政策研究所総括研究官	千々布 敏弥	104

職務に応じた研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
教務担当・教務主任研修			18	講話及び演習	学校の組織力を高めるために	兵庫教育大学教授	浅野 良一	55
研究主任研修	21	8	10	講話	理論と実践の調和をねらう体験型学校研究	関西大学 特別任用教諭	今宮 信吾	57
学年主任研修			10		学級風土を考える	お茶の水女子大学大学院准教授	伊藤 亜矢子	62
	22	2	28					19
外国語活動中核教員研修		6	5	講話及び演習	小学校における外国語活動実施にあたって	鳴門教育大学准教授	兼重 昇	39
拠点校指導教員研修			9		初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける	指導主事		22
安全主任研修		7	22		子どもの安全SOS	兵庫県立清水が丘学園教諭		69
養護教諭研修	22	2	9	講話	養護教諭の職務実践からみた安全と保健	女子栄養大学教授	三木とみ子	52
教育用コンピュータシステム管理担当研修	21	4	17	講話及び演習	教育用コンピュータシステムの管理と運用	指導主事		63

教職経験年数に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
1年目教員必修研修	第1回	21	6	23	講話	尼崎市の教育課題・歴史・環境、1年間の学級経営、グループ別研修（学級目標・地域を学ぶ）	指導主事		94
	第2回			9	演習	情報教育(1) 学習用コンピュータシステムの活用（小学校）			75
				16		情報教育(1) 学習用コンピュータシステムの活用（小学校及び中学校）			
	第3回			2	体験	尼崎養護学校体験	尼崎養護学校 校長 教頭 教諭		97
				30					
	第4回			7	演習	普通救命講習（AED講習等）、指導案の書き方	北消防署職員、指導主事		94
	第5回		7	28	講話	あーよかったな、あなたがいて（人権教育）	教育サポーター	仲島 正教	95
					子どものやる気を育てる学級経営	神戸女子短期大学副学長	長瀬 荘一		
				演習	グループ別研修（1学期のふり返り・地域学習中間報告）	指導主事			
	第6回		8	25	講話	今、すぐ、そこからはじめる環境教育	ひょうご環境創造協会	山下 広行	96
					教育相談及び特別支援教育について	指導主事			
	第7回		6	講話及び演習	輝く自分になるために 接遇マナー	トータルマナー研究所副所長	山本 えり	96	
				演習	グループ別研修（グループ内地域研究発表）	指導主事			
	第8回		10	20	講話及び演習	楽しい道徳教育をはじめよう	畿央大学教授	島 恒夫	89
					授業参観及び協議	道徳の公開授業（小学校2 中学校1）	武庫庄小学校教諭	中家 良太	
				大庄小学校教諭			峯本 千鶴		
				武庫東中学校教諭			井谷 嘉彰		
	第9回		11	10	講話及び演習	尼崎市の防災対策について（講話・施設見学・体験）	防災対策課・防災センター職員		93

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数	
1年目教員必修研修	第10回	21	11	24	講話	情報モラルに関する基礎知識を身につける	岐阜聖徳学園大学教授	石原 一彦	92	
						職場体験研修の発表及び社会人の基礎基本について	大和ハウス(株) 人事部次長	鈴木 範一		
	第11回	22	12	8	演習	情報教育(2) I C Tを活用した教材づくり (小学校)	指導主事		69	
						情報教育(2) I C Tを活用した教材づくり (小学校及び中学校)				
	第12回	2	16	講話及び演習	地域・保護者との連携	東大阪大学教授	古川 治	94		
				演習	グループ別研修 (全体地域研究発表及び初任者研修のまとめ)	指導主事				
ステップ・アップ研修 (選択)	(1)	21	5	26	講話及び演習		新学習指導要領・学校実務・理科実験安全について			87
	(2)		8	4			児童生徒をひきつける造形活動			18
	(3)		10	27	演習		授業設計入門 (指導案づくり)			70
	(4)			13						30
	(5)		11	17						77
	(6)		12	1						生徒指導入門
(7)	22	2	16	尼崎のいいところ	あまがさき・街のみどころご案内所	櫻田 理美子	19			
2年目教員授業実践研修		通年				公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修	指導主事		87	
4年目教員交流研修					授業参観	異なる校・園種に行き、授業の参観と授業の実践	各校・園長及び担当教員		56	
5年目教員研修		21	7	31	講話及び演習	個を生かす学習指導	指導主事		50	
10年経験者研修			5	14	講話及び見学	共通研修 (尼崎の歴史を考える) 文化財収蔵庫にて実施	文化財収蔵庫学芸員	楞野 一裕	4	
		通年			任意の11研修を選択 (地域活動研修講座は必修)					
15年目教員研修		21	7	30	講話及び演習	中堅教員としての資質と役割 社会人としての気づきと発見	授業改善アドバイザー		23	
		通年				任意の研修を1つ選択			31	
20年目教員研修						個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択				31
研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数	

常勤の臨時講師 研修	(1)	21	6	11	講話及 び演習	子どもや保護者への対応について	指導主事		51
	(2)		10	15		(1)を受講できなかった場合に受講			60
管外転入教員研修				4	23	講話	本市の教育相談の現状 本市の教育の現状と課題		教育次長

2 希望による研修

今日的課題に対応した研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・ 役職	講師の氏名	受講 者数
人権教育研修講座	(1)	21	8	24	講話	これからの人権教育の取組	兵庫県立大学 准教授	高田 一宏	204
	(2)			26		学級づくりと自尊感情	西宮市立苦楽園 小学校教諭	大東 和子	181
一般教養研修講座			7	29		世界に自慢したいアマの魅力	(株) 地域環境 計画研究所	若狭 健作	102
地域活動研修講座		通年			実習	地域活動への参加・体験・貢献			4
学校飼育動物研 修講座	(1)	21	5	28	講話	学校飼育動物の飼い方について (ウサギ、ニワトリ)	尼崎市開業獣 医師		40
	(2)		11	19		学校飼育動物の飼い方について (鳥類、ウサギ小屋の整備)			40
校務の情報化研 修講座	(1)		7	24	演習	表計算ソフトを活用した成績処 理の基礎	指導主事		22
	(2)			19	講話及 び演習	子どもと大人の危険な情報利用	(株) JMCエ デュケーション ズ	杉村 智恵子	24
統計処理入門研修講 座				4	演習	表計算ソフトを活用した統計処 理の基礎	指導主事		23
プレゼンテー ション入門研修 講座	(1)		8	5		効果的なプレゼンテーションを 作ろう			16
	(2)					効果的なプレゼンテーションを しよう			15
情報モラル・セ キュリティ入門 研修講座	(1)		20			取り組もう情報モラルの指導			10
	(2)					高めよう情報セキュリティー			9

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
情報システム活用研修講座	(1)	21	7	演習	ホームページ作成の基礎 (4回実施のうち、1つを受講する)	指導主事		6
	(2)							7
	(3)							7
	(4)							12
学校事務支援システム活用研修講座	(1)	22	1	講話及び演習	学校事務支援システムの活用方法の習得	日本ビジネスコンピュータ(株)	藤木 利轄	33
	(2)							

子ども理解のための研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
カウンセリング基礎講座	(1)	21	7	講話	カウンセリングあれこれ	大阪学院大学准教授	安田 一之	136
	(2)			講話及び演習	傾聴と共感の実習を通して	兵庫県立大学教授	松本 剛	73
生徒指導研修講座		21	8	講話	いじめという現象を読み解く	大阪樟蔭女子大学学長	森田 洋司	112
不登校児童生徒支援研修講座			7		不登校児童生徒の理解及び対応	京都大学附属病院医師	川岸 久也	90
特別支援教育研修講座	(1)		8		特別な支援を必要とする子ども理解及び対応	関西国際大学准教授	中尾 繁樹	90
	(2)		7		通常学級で担任ができる特別支援	元下坂部小学校教諭	安定 美樹子	128

教科等の指導力向上をめざした研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
言語力向上研修講座		21	7	講話及び演習	N I Eを利用した言語活動の実践 ミニ新聞づくり	指導主事		60
道徳教育研修講座	(1)		30		心のノートを取り入れた授業展開	大庄小学校教諭	田邊 田鶴子	80
	(2)	10	29	講話及び参観	道徳の授業と講話「道徳教育を柱とした仲間づくり・授業づくり」	金楽寺小学校教諭	藤本 智美	13
						神戸市立井吹西小学校教諭	渡邊 庸平	
学級経営研修講座		7	31	講話及び演習	あなたは最近子どもたちをゆさぶる授業をしたことがありますか？	武庫庄小学校校長	小笹 雅幸	70
					あなたは子ども一人一人をしっかりとらえることができていますか？	大庄北中学校校長	井上 公哉	

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数		
国語科教育研修講座	(1)	21	8	6	講話	「語彙力」を育てる指導のアイディア	京都女子大学教授	吉永 幸司	211		
	(2)			4		「書くこと」で育つ学力	指導主事		186		
社会科教育研修講座	(1)			6	体験	海から見たわが町、尼崎	尼崎港管理事務所所長	高橋 秀文	37		
	(2)			3	講話及び演習	新装文化財収蔵庫を体験&ワタの体験学習	歴博・文化財収蔵庫学芸員	楞野 一裕	21		
算数科教育研修講座				3	講話	新学習指導要領での算数のひろがりについて	京都産業大学教授	牛瀧 文宏	38		
数学科教育研修講座				11	16	講話及び参観			中学校数学につながるものと中学校数学からつながるもの	18	
理科教育研修講座	(1)			7	29	演習	新学習指導要領に対応！3，4年の教材から	尼崎北小学校教諭	中田 眞一	44	
	(2)			8	10		使ってみよう宇宙の教材	JAXA 宇宙教育センター	遠藤 純夫	21	
生活科教育研修講座				7	24		科学的な見方、考え方を培う指導法「つくって遊ぼう」	園和小学校教諭	大津 雅子	48	
幼児教育研修講座	(1)				24		子どもの発想を育てる描写指導			47	
	(2)			8	7		心を育てるリズム表現	大阪教育大学准教授	加藤 あや子	47	
音楽科教育研修講座				7	23		講話及び演習	観て・聴いて・触れて・奏でて「和の音楽と地球音楽」	関西邦楽教育振興会代表	大原 啓司	45
図工・美術科教育研修講座					30		新学習指導要領に対応した指導法	大阪教育大学教授	岩崎 由紀夫	55	
体育科教育研修講座	(1)	22	1	21	演習	子どもがゴール型ゲームを楽しむ指導法（予定）	デウソン神戸の選手2名		41		
	(2)	21	8	25		中学校武道「柔道」について	園田中学校教諭	鎌田 基	10		
英語科教育研修講座				24	講話及び演習	教科書の効果的な活用法	関西外国語大学教授	中嶋 洋一	19		

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・ 役職	講師の氏名	受講 者数		
小学校外国語活動	(1)	21	7	23		英語ノートを中心とした外国語活動の歌やゲームの指導法	聖母被昇天学院講師	成田 朋子	37		
	(2)						明城小学校教諭	小掠 淳子			
総合的学習研修講座			8	5	講話及び演習	楽しく話すクラスルームイングリッシュ	A L T 8 名		26		
図書館教育研修講座							環境教育をテーマにした授業づくり 尼崎にきれいな海をとりもどそう！	(財) 国際エメックスセンター	職員 3 名	18	
				3		授業が生きるブックトーク	ブックトークスペシャリスト	北畑 博子	93		
技術・家庭科教育研修講座			12	3	講話	e ネット安心講座	N T T 西日本兵庫	江坂 清司	13		
食育研修講座				4		家庭・地域を巻き込んだ「食の教育」	神戸女子短期大学准教授	平野 直美	121		
小情報教育研修講座	(1)		8	7	演習	子どもたちの情報活用能力を育成しよう 具体的な指導事例を調べよう	指導主事			11	
	(2)					子どもたちの情報活用能力を育成しよう 授業案を考えよう				10	
中・高情報活用推進研修講座				3	講話及び演習	校内ネットワークの構築について					5
公開授業研修講座（小学校）	(1)		10	27	授業参観及び研究協議	1 年目教員による公開授業（授業者 立花西小学校 新宮 菜々子、宮里 両、村上 久美子 教諭）					71
	(2)		11	17		1 年目教員による公開授業（授業者 長洲小学校 山下 理恵、山田 祐大、馬淵 雅子 教諭）					77
公開授業研修講座（中学校）	(3)		10	13		1 年目教員による公開授業（授業者 立花中学校 田中 裕基 教諭）					31
	(4)		12	1		1 年目教員による公開授業（授業者 園田中学校 小玉 多恵 教諭）				授業改善アドバイザー	21
公開授業研修講座（小学校）	(5)		10	8		2 年目教員による公開授業（授業者 園田小学校 児玉 崇 教諭）				指導主事	27
	(6)		12	1		2 年目教員による公開授業（授業者 水堂小学校 恒川 知子 教諭）					50

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
公開授業研修講座（中学校）	(7)	21	12	2	授業参観及び研究協議	2年目教員による公開授業（授業者 小田北中学校 中村 匡孝 教諭）	小田北中学校 校長	尾崎 一郎	34
	(8)	22	1	20		2年目教員による公開授業（授業者 武庫中学校 宝代地 陽 教諭）	指導主事		48
公開授業研修講座（小学校）	(9)			28		3年目教員による公開授業（授業者 梅香小学校 谷口 陽子 教諭）			42
	(10)	2	3	3年目教員による公開授業（授業者 浦風小学校 浦川 祐子 教諭）		10			
公開授業研修講座（中学校）	(11)	21	11	2		3年目教員による公開授業（授業者 若草中学校 久岡 泰之 教諭）			11
	(12)		12	7		3年目教員による公開授業（授業者 武庫東中学校 柿白 耕一郎 教諭）			15
公開授業研修講座（小学校）	(13)		10	30		4年目教員による公開授業（授業者 園田北小学校 糸賀 美和 教諭）			16
	(14)		11	5		4年目教員による公開授業（授業者 下坂部小学校 坂本 肇 教諭）			15
公開授業研修講座（中学校）	(15)			2		4年目教員による公開授業（授業者 小園中学校 田村 一成 教諭）			7
	(16)			13		4年目教員による公開授業（授業者 園田東中学校 名田 美賀 教諭）			成良中学校琴城分校教頭
マイスターによる公開授業研修講座	(17)			22	1	20			講話及び参観
	(18)		22			園田南小学校 主幹教諭	藤原 和恵	41	
	(19)		9			17	南武庫之荘中学校 主幹教諭	中村 恵利子	
視聴覚教材作成研修講座	(1)		21	7	27	演習	学習用コンピュータを使ったビデオ編集の基本（小学校）	指導主事	
	(2)	学習用コンピュータを使ったビデオ編集の基本（中学校）					8		
教育研究発表会		22	2	16	講話	教育総合センター研究発表会	大阪女子短期大学教授	住本 克彦	145

特別に実施する研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
小学校コンピュータ特別研修		通年			講話及び演習	ぐんぐんのびる個別ドリルシステム	指導主事		864
ホームページ作成研修					演習	学校・園ホームページの作成			20
特別臨時研修（危機管理）		21	11	16	講話	危機は管理できるか	南武庫之荘中学校校長	倉橋 忠	62
特別臨時研修（特別支援教育）			10	23	講話及び演習	子どもの困り感に寄り添う支援の実践	関西国際大学教授	藤田 継道	55
			12	7		読むことに困難がある児童生徒へのデージーによる支援	日本障害者リハビリテーション協会	野村 美佐子	58
			3	5	講話	支援が必要な子へのアプローチ	くらしき作陽大学教授	橋本 正巳	69
特別臨時研修（一般教養）			12	3		夢まっしぐら！サッカーと私	セレッソ大阪アンバサダー	森島 寛晃	58
特別臨時研修（幼児教育）				9		子どもと絵本を楽しむ	大阪国際児童文学館	土居 安子	33
特別臨時研修（英語科教育）		22	1	講話及び演習	リスニング力、スピーキング力をどう高めるか	関西外国語大学教授	中嶋 洋一	23	
					18			リーディング力、ライティング力をどう高めるか	21
					19			指導と評価をどうリンクさせるか	21
特別臨時研修（保護者対応）		2	15	講話	モンスターペアレント論を超えて	大阪大学教授	小野田 正利	98	
			18	演習	保護者対応のロールプレイ			79	
			23		ロールプレイを行うための課題づくり			74	

12 平成21年度 教育相談担当の研修事業等報告

1 教育相談スーパーバイザー

教育相談および不登校事例等に関し、専門的な立場である大学教授および心療内科医から助言・指導を受けることにより、相談員の資質向上と業務の充実を図ります。

〈スーパーバイザー〉

分野	氏名	職名
教育臨床	井上 敏明	六甲カウンセリング研究所長
心療内科医	小倉 義廣	こくらクリニック院長
臨床心理	八木 修司	関西福祉大学専任講師

年	月	日	バイザー	テーマ・内容
21	6	11	小倉 義廣	問題行動を繰り返す高校生の見立て及び学校における支援についてと起立性調節障害についての講話
21	9	3	八木 修司	父親が施設入所も考えた小学生の事例検討
21	12	17	井上 敏明	発達的な問題が疑われる児童を持つ保護者への対応についての事例検討及び事例検討会における留意点
22	1	28	小倉 義廣	母親へのDV場面を目撃後、心的外傷反応と思われる症状を呈する3人の同胞についての事例検討及びPTSDについての講話

『教育相談担当』活動状況

1 相談件数

(平成21年4月～22年3月)

(平成21年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相談件数 ①+②		349	291	186	158	78	140	157	162	127	130	164	164	2,106
①電話相談		112	110	152	118	67	126	141	144	102	120	132	144	1,468
面接 相談	②相談者数	237	181	34	40	11	14	16	18	25	10	32	20	638
	③延面接数	352	358	267	274	218	219	242	245	246	279	268	281	3,249
延相談件数 ①+③		464	468	419	392	285	345	383	389	348	399	400	425	4,717
出張 相談	面接数(再掲)	160	205	16	0	0	1	0	6	4	1	2	2	397
	研修数(再掲)	1	0	1	2	2	1	5	0	0	0	1	1	14

2 電話相談

(1) 相談内容別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身 体 言 語	6	4	6	2	2	4	3	5	3	5	2	12	54
精 神 情 緒	30	28	49	28	19	38	37	40	28	27	46	43	413
性 格 行 動	55	43	55	53	30	62	73	72	49	65	60	62	679
学 業 進 路	14	14	16	22	14	11	10	17	8	14	9	12	161
そ の 他	7	21	26	13	2	11	18	10	14	9	15	15	161
合 計	112	110	152	118	67	126	141	144	102	120	132	144	1,468

(2) 相談対象者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	2	6	3	6	1	8	9	10	1	7	10	10	73
小 学 生	48	59	64	52	35	55	46	58	48	56	45	70	636
中 学 生	34	27	35	32	12	23	42	28	29	30	44	38	374
高 校 生	9	6	26	8	3	9	12	15	3	7	6	5	109
教 員 他	19	12	24	20	16	31	32	33	21	20	27	21	276
合 計	112	110	152	118	67	126	141	144	102	120	132	144	1,468

(3) 相談者別数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
小 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
中 学 生	5	2	0	1	3	3	3	4	3	3	1	1	29
高 校 生	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	1	1	8
教 師	21	25	47	27	21	33	37	34	27	45	43	45	405
保 護 者	61	63	74	61	29	65	67	74	48	52	56	68	718
そ の 他	25	20	31	28	13	25	34	30	24	18	31	28	307
合 計	112	110	152	118	67	126	141	144	102	120	132	144	1,468

3 面接相談

(1) 受付人数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 子	149	134	15	8	6	5	4	4	4	3	4	1	337
女 子	88	47	19	32	5	9	12	14	21	7	28	19	301
合 計	237	181	34	40	11	14	16	18	25	10	32	20	638

(2) 相談内容別数

(平成21年4月～22年3月)

(平成21年度)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
身体言語	相談者数	0	1	0	2	0	1	2	1	4	0	2	1	14
	延面接数	0	2	2	7	4	7	9	5	9	3	13	14	75
精神情緒	相談者数	31	8	9	15	0	3	4	5	7	2	9	3	96
	延面接数	71	57	97	100	77	89	100	99	109	91	114	112	1,116
性格行動	相談者数	170	155	16	20	6	8	9	8	13	7	18	12	442
	延面接数	240	251	142	155	119	113	119	125	116	169	130	138	1,817
学業進路	相談者数	6	3	6	3	2	1	0	4	0	1	1	2	29
	延面接数	9	10	20	12	14	8	13	15	11	16	9	9	146
そ の 他	相談者数	30	14	3	0	3	1	1	0	1	0	2	2	57
	延面接数	32	38	6	0	4	2	1	1	1	0	2	8	95
合 計	相談者数	237	181	34	40	11	14	16	18	25	10	32	20	638
	延面接数	352	358	267	274	218	219	242	245	246	279	268	281	3,249
出張面接(再掲)		160	205	16	0	0	1	0	6	4	1	2	2	397

(3) 相談対象者別数(校種別)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
就 学 前	相談者数	7	6	8	4	0	1	2	0	1	1	2	5	37
	延面接数	24	19	29	33	17	24	31	21	18	19	18	30	283
小 学 生	相談者数	156	125	13	24	6	6	9	13	16	5	14	11	398
	延面接数	208	211	125	132	130	105	120	126	134	167	145	159	1,762
中 学 生	相談者数	32	36	6	9	1	4	3	3	5	4	11	2	116
	延面接数	65	82	80	87	57	74	75	83	79	80	87	74	923
高 校 生	相談者数	9	0	4	3	1	2	1	2	2	0	3	1	28
	延面接数	17	5	23	18	10	11	13	14	11	11	14	11	158
教 員 他	相談者数	33	14	3	0	3	1	1	0	1	0	2	1	59
	延面接数	38	41	10	4	4	5	3	1	4	2	4	7	123
合 計	相談者数	237	181	34	40	11	14	16	18	25	10	32	20	638
	延面接数	352	358	267	274	218	219	242	245	246	279	268	281	3,249

(4) 紹介者経路

区 分	継続・以前	学校・園等	知 人	病 院	公的機関	市報・その他	合 計
人 数	124	427	22	1	44	20	638

4 特別支援学級

(平成22年3月1日現在)

障害種別	知的障害	情緒障害	肢体不自由	難聴	弱視	病弱	合 計
小学校(学級数)	39	33	21	3	1	0	97
中学校(学級数)	17	7	5	2	0	0	31

5 巡回相談

校園種	幼稚園	小学校	中学校	合 計
回 数	9	16	10	35

13 平成 21 年度 教育研究部会の概要報告

1 算数・数学科教育研究

算数・数学の基礎学力向上をめざして

ー ポートフォリオ評価法の活用 ー

指導主事	鈴木	美臣	
研究員	鎌田	啓志	(浜田小)
〃	山田	雅行	(名和小)
〃	平山	啓子	(園田小)
〃	真殿	康正	(南武庫之荘中)

【内容の要約】

子どもが1時間の授業をふり返り、わかっていることとそうでないことを自己評価する。指導者はそれを子どもと共有し、必要に応じアドバイスや指導を行う。これを2～3の単元において行う。

取組の手段としては、昨年度に続き、ポートフォリオ評価法を活用する。

本研究に取り組んで2年になる。今年度は、昨年の課題や反省を生かしながら実践を試みた。ポートフォリオ評価用紙を通して、児童・生徒と教師が学力向上という目的を共有し、互いの人間関係を高めた事例であった。

2 外国語活動研究

外国語活動におけるコミュニケーションを図る楽しさを味わう授業の研究

ー 英語ノートの効果的な活用を通してー

指導主事	寺田	忠司	
研究員	島田	佳幸	(成文小)
〃	吉本	圭子	(園田小)
〃	西村	純	(名和小)

【内容の要約】

外国語活動の授業を実践するにあたり、英語ノートを活用しながら、学習指導要領の目標に迫るための効果的な授業づくりを研究することとしてテーマを設定し、次の3点を重点課題として取り組んだ。

- 1 英語ノートを活用したコミュニケーション能力の素地を養うための教材を開発する
- 2 外国語活動の授業において、担任主導型のあり方を研究する
- 3 授業実践を行う

児童の自由記述から授業実践を振り返ったところ、活動に対する積極的な評価や好意的な感想があった。授業形態の相違が児童の評価を決定するのではなく、どの形態でも工夫によって好評価を得られることが明らかとなった。

3 社会科教育研究

デジタルコンテンツを活用した効果的な指導方法の研究

ーデジタルコンテンツの活用とその教育的効果の考察ー

指導主事	小	原	誠	
研究員	田	中	良 宜	(啓明中)
〃	浅	田	宗 良	(大島小)
〃	馬	場	憲一郎	(園田南小)
〃	貝	畑	健 太	(武庫東小)
〃	原	田	麻 畝	(園田北小)
〃	西	野	貴美子	(上坂部小)
〃	笠	井	美 香	(浜 田 小)

【内容の要約】

教育の情報化は、情報活用能力の育成を目指した情報教育の充実及び ICT を効果的に授業で活用することによる「わかる授業」の実現を目的としている。これらの目的を達成するためには、ICT 環境の整備はもとより、それらを活用する教員の ICT 活用指導力の向上が不可欠である。

社会科教育においては、平成 23 年度の社会科副読本「私たちの尼崎」の大改訂に向けての作業が進んでおり、各学校でも、地域教材を取り入れた授業の充実に取り組んでいる。

こうした状況の中、本研究部会では、社会科における「効果的な指導のためのコンテンツ活用」という視点のもと、地域教材の作成に目を向け、特に授業で活用出来るコンテンツの開発と地域と関わりの深い教材開発に取り組んできた。そして、作成したデジタルコンテンツを用いた授業実践を通して、児童の変容からデジタルコンテンツの有効性を検討した。その結果、デジタルコンテンツは、児童の授業に対する興味・関心を高めることに関与することが明らかになった。

4 生徒指導研究

公立学校の社会的存在と地域連携に関する考察

指導主事	上	原	郁 雄	
研究員	比	嘉	勲	(小田南中)
〃	橋	本	武 史	(小田南中)
〃	中	島	将 雄	(園田中)
〃	藤	田	孝 幸	(武庫南小)

【内容の要約】

学校・地域の連携から

- 1 学校を取り巻く状況について、地域の学校に子どもを通わせている保護者と保護者以外の地域住民に関し調査を行ったところ、現在地域の学校に通う子どもがいなかったり、地域の学校との接点がない地域住民は、地域の公立学校に子どもを通わせている保護者よりあいさつ程度の関わりは多かったものの密接な関わりは少ないことがわかつ

た。

- 2 保護者と教員の望むものの方向性の違いにより発生する問題について、その違いの内容について調べた。評価、問題行動、安全、については概ね同一の結果が得られた。
- 3 1及び2より、単に地域コミュニティの一部が学校であるのではなく、学校を地域コミュニティ参加への機会とした学校と地域相互のメリットでの連携が大切でありその為の簡単なモデルの考察をしたことで、今後地域と学校の関わりについて考えていける基礎となったと考える。

5 教育相談研究

開発的な教育相談 —個や集団の質を高める—

指導主事	荒 木 伸 子	
研究員	平 岩 裕 美	(梅香小)
〃	片 山 亮	(立花北小)
〃	泉 知 恵	(武庫庄小)
〃	溝 口 みどり	(立花中)
〃	森 葉 子	(園田中)

【内容の要約】

今年度は「自己存在感」「自己決定の場」「共感的人間関係」の3点を大切にしながら、個や集団の質を高めることをめざして研究した。まず、Q-Uアンケートや希望調査、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成等を行い個や学級集団の現状を客観的に捉え、児童生徒への予防的な手立て・支援を考えることができた。そして「振り返りの時間をもつことで自分と向き合う」「書いたり話したりすることで、自分の気持ちを言語化する」「グループや学級の中でお互いの思いを知り認め合う」等を実践してきたことによって、集団の中でつながりが見え始めた。最後に5つの実践から、自分が励まされ、認められる集団の中にいる、人とつながることが楽しいと気づいたとき、自分に自信を持ち、変わり始めることができると強く確信した。

6 国語科教育研究

確かな言葉の力を育てる指導の研究 —伝え合う力の育成をめざして—

指導主事	樋 口 博 子	
研究員	青 木 優樹恵	(潮小)
〃	松 野 冴 子	(浜田小)
〃	森 戸 寛 子	(浜田小)
〃	西 尾 鮎 子	(立花西小)
〃	鈴 木 佳 世	(水堂小)
〃	糸 賀 美 和	(園田北小)

【内容の要約】

本年度の研究は、対話活動を主とした教材分析を行い、伝え合う内容を整理し、伝え合う技能・技術（スキル）の定着を図った。また、年間指導計画を立て、目的意識を持って系統的に学習することで、「伝え合う力」の向上、「対話・話し合い活動」の充実につながる事が明らかになった。

7 理科教育研究

理科の基礎学力向上をめざして

ー小中連携をふまえた効果的な指導方法についての研究ー

指導主事	藤 井 健三郎	
研究員	上 条 善 男	（立花北小）
〃	行 本 憲 司	（名和小）
〃	是 澤 健 治	（園田中）

【内容の要約】

学習指導要領において、小学校理科は「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の4領域に、中学校校は第1分野と第2分野に整理されている。そこで小学校と中学校で共通の問題を作成し、小学校では確認テスト、中学校では復習テストとして実施することで基礎学力を向上させるために有効であることが明らかとなった。

8 小学校情報教育研究

個別ドリルシステムの効果的な活用について

指導主事	大 濱 洋 治	
研究員	久 下 愛 美	（杭瀬小）
〃	谷 口 沙 織	（立花小）
〃	合 内 瑠 美	（武庫の里小）

【内容の要約】

平成19年度、児童の学力を向上させるために導入した「ぐんぐんのびる個別ドリルシステム」について、個別にドリルを印刷する方法以外の効果的な活用方法を検索した。大型テレビを活用したフラッシュカード的な取り扱いにおいて、複雑な計算には不向きなこと、即習の確認では児童の興味・関心を引きつけることが明らかとなった。

14 平成21年度 視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告

16ミリ映写機操作技術講習会

(参加人数 21人)

月	日	テ ー マ
7	15	演習「16ミリ映写機の操作法」
8	26	演習「16ミリ映写機の操作法」
11	18	演習「16ミリ映写機の操作法」

(2) 視聴覚室機器及びビデオ編集機利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
視聴覚室	8	1	12	6	2	1	2	6	10	7	15	12	82
ビデオ編集	0	0	0	1	0	0	1	2	4	1	2	1	12
計	8	1	12	7	3	1	3	8	14	8	17	13	94

(随時講習も含む)

(3) 視聴覚ライブラリー利用状況

	受付 件数		16ミリ 映写機	スライド 映写機	OHP	スクリーン	暗幕	16ミリ フィルム	ビデオ テープ	スライド フィルム	TP
学校関係	24	内 訳	0	0	1	1	0	0	45	0	8
公共団体	26		4	0	1	1	7	23	22	0	0
その他団体	26		20	0	0	0	3	43	7	0	0
個人	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	76		24	0	2	2	10	66	74	0	8

学校関係 : 公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等

公共団体 : 学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等

その他の団体 : 育友会・子ども会・地域団体・老人会等

個人 : 個人登録者

15 平成21年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校 昭和40年以降の教科書 中学校 昭和37年以降の教科書 高等学校 昭和54年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書
2 法定展示	展示期間	平成21年6月19日 ～ 平成21年7月8日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	平成20年度～平成22年度使用小学校用教科書 平成22年度～平成23年度使用中学校用教科書 平成22年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第9条に基づく教科書

16 平成21年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集（保有数）	
・ 教育関係図書	13,041冊
・ 教育関係資料（研究紀要・報告書）	7,196冊
・ 逐次刊行物	
雑誌収集	16タイトル
新聞収集	2タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」	No. 112 ～ No. 115
（平成21年5月、9月、12月、平成22年3月の年4回発行）	
・ 「教育あまがさき」	第64号 ～ 第65号
（平成21年10月、平成22年3月の年2回発行）	
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 47号

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

教育総合センター所長 あて

校・園 名
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____
- 2 研修実施日 平成 年 月 日 ()
- 3 対象者名 _____
- 4 欠席理由 _____

以 上

(様式4)

第 号
平成 年 月 日

兵庫県教育委員会
阪神教育事務所長 様

校 名
校長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届け出ます。

1 研 修 名 _____

2 研 修 実 施 日 平成 年 月 日 ()

3 欠席者の職名・氏名

職名 _____

氏名 _____

4 欠 席 理 由

以 上

(様式5)

平成 年 月 日

県立教育研修所長 様

学校名 _____

校長名 _____

職
印

欠 席 届

平成22年度現職教育研修講座を下記により欠席しますので届け出ます。

記

講座番号			
講座名			
欠席期日		平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()	
期 間		() 日間	
欠席者	職 名		
	氏 名		
欠 席 理 由		区分	公務のため ・ 私用のため ・ その他
		(理由を記入してください)	

欠席届は、県立教育研修所長あて直送してください。